

冷凍バン 保冷バン クーリングバン

取扱説明書

別冊 注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。

適用車種	トヨタ ハイエース
適用型式	TRH / GDH

はじめに

このたびは冷凍バン／保冷バン／クーリングバンの注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は冷凍バン／保冷バン／クーリングバンを安全・快適にお使いいただくため、冷凍バン／保冷バン／クーリングバンに関して正しい取り扱いを説明してあります。

また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様の冷凍バン／保冷バン／クーリングバンに該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 知識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

- ・お車を手放すときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

- 目次 -

専用装置、装備の使い方..... 2

荷室内間仕切り〈固定式〉.....	2
荷室内間仕切り〈開閉式〉.....	3
カーテン&エアダム.....	6
オゾン式脱臭装置.....	8
バックモニター.....	9
コントロールパネル〈移設〉.....	10

車の手入れ..... 11

オゾン式脱臭装置の触媒の交換	11
----------------------	----

専用装置、装備の使い方

荷室内間仕切り〈固定式〉

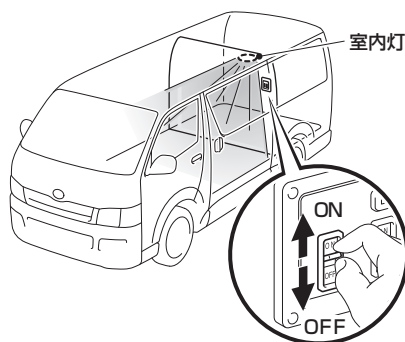
知識

冷凍バン／クーリングバンの場合、冷凍・冷蔵状態で運ぶ必要がある積荷は、前室側（スライドドア側）に積んでください。

●後室側（バックドア側）は保冷のみになります。

前室側に室内灯・室内灯スイッチ、非常警報装置が追加装備されます。

室内灯



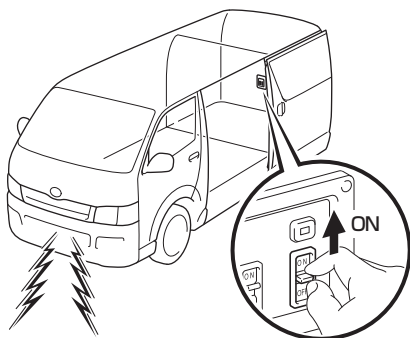
ONバックドアまたはスライドドアを開けたとき点灯します。

OFF.... ドアの開閉に関係なく消灯します。

アドバイス

- 作業終了後や長期間車を使用しないときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリーあがりの原因となります。
- 点灯回数で寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。

非常警報装置



万一、荷室内に閉じこめられた場合に、荷室内から車のホーンを鳴らすことができる装置です。

スイッチを「ON」にすると車のホーンが鳴り、荷室内に人がいて危険なことを知らせます。

警告

非常警報装置が作動すること（スイッチ「ON」でホーンが鳴ること）を運行前に確認してください。装置が正常に作動しないと、万一荷室内に人が閉じこめられたとき、外部に危険を知らせることができず、重大な事故につながるおそれがあります。

荷室内間仕切り〈開閉式〉

積荷の量や用途に応じて、荷室を変更できます。

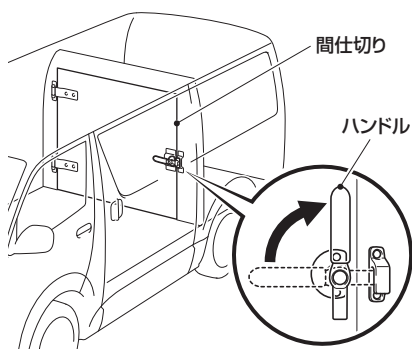


知識

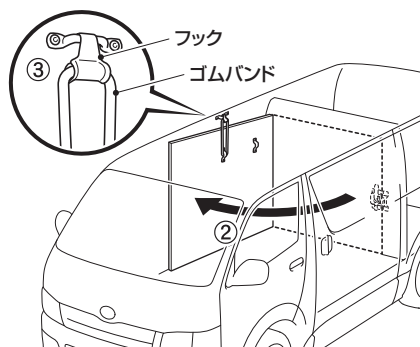
冷凍バン／クーリングバンで間仕切りを閉めた場合、冷凍・冷蔵状態で運ぶ必要がある積荷は、前室側（スライドドア側）に積んでください。

●後室側（バックドア側）は保冷のみになります。

■開け方



- ① ハンドルを矢印方向にまわし、ロックを解除します。

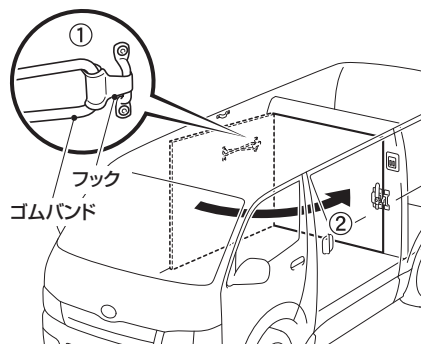


- ② ハンドルを持って間仕切りを開けます。
③ ゴムバンドのフックを荷室内上部のフックにかけます。

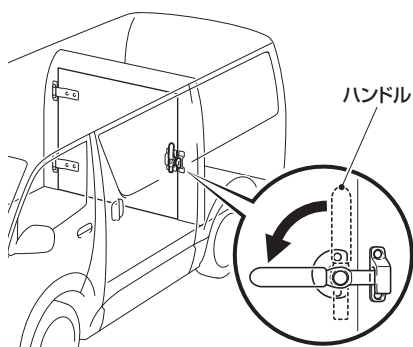
⚠ 注意

- 間仕切りを開閉するときは、必ずハンドルを持ってください。ハンドル以外の部分を持つと、手を挟みけがをすることがあります。
- 間仕切りを開けたときは、必ず間仕切りを全開にし、ゴムバンドで間仕切りを固定してください。傾斜地では自然に間仕切りが動くことがあり、間仕切りに当たってけがをしたり、積荷を損傷することがあります。

■ 閉め方



- ① ゴムバンドを荷室内上部のフックからはずし、間仕切りのフックにかけます。
- ② ハンドルを持って間仕切りを閉めます。



- ③ ハンドルを矢印方向にまわし、間仕切りをロックします。
● ハンドルを持って前後にゆさぶり、間仕切りが確実にロックされていることを確認してください。

⚠ 警告

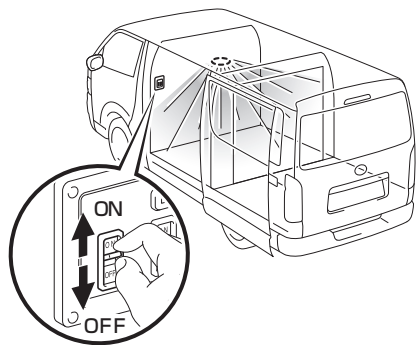
間仕切りを閉めるときは、必ず後室側（バックドア側）に人がいないことを確認してください。後室側（バックドア側）に人が閉じこめられると、中からバックドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

間仕切りを閉めたときは、間仕切りが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと、不意に間仕切りが開き、積荷を損傷するおそれがあります。また、冷気がもれ、冷凍・保冷性能を確保できず、積荷を損傷するおそれがあります。

前室側に室内灯・室内灯スイッチ、非常警報装置が追加装備されます。

室内灯



ONバックドアまたはスライドドアを開けたとき点灯します。

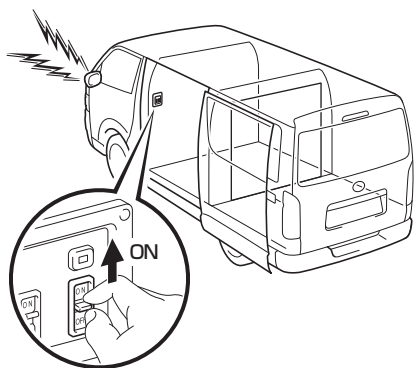
OFFドアの開閉に関係なく消灯します。



アドバイス

- 作業終了後や長期間車を使用しないときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリーあがりの原因となります。
- 点灯回数で寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。

非常警報装置



万一、荷室内に閉じこめられた場合に、荷室内から車のホーンを鳴らすことができる装置です。

スイッチを「ON」にすると車のホーンが鳴り、荷室内に人がいて危険なことを知らせます。

⚠ 警告

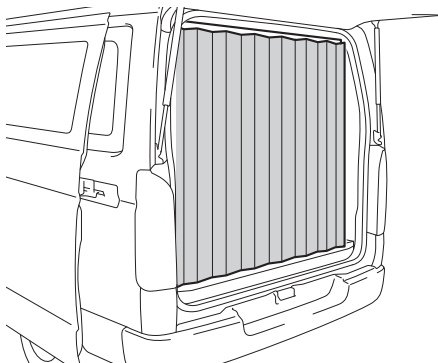
非常警報装置が作動すること（スイッチ「ON」でホーンが鳴ること）を運行前に確認してください。装置が正常に作動しないと、万一荷室内に人が閉じこめられたとき、外部に危険を知らせることができず、重大な事故につながるおそれがあります。

カーテン&エアダム

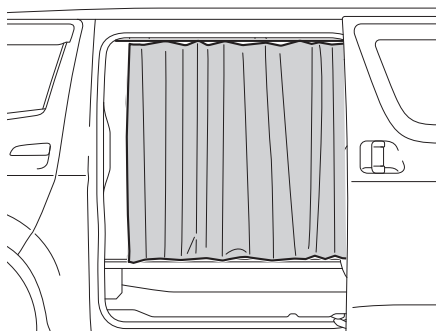
ドアを開けたときに冷気もれるのを防ぎ、荷室内の保冷効果を高めます。
積荷があるときは閉めておいてください。

カーテン

バックドア用

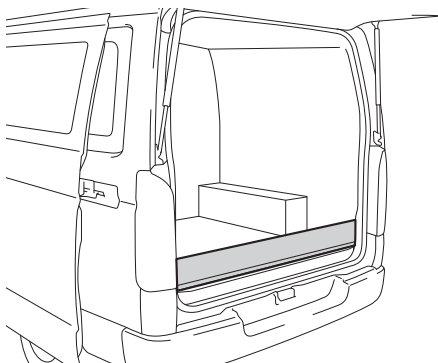


サイドドア用

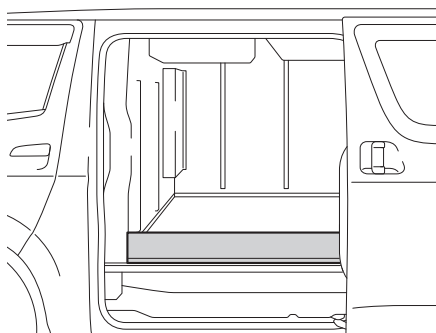


エアダム

バックドア用



サイドドア用



■エアダムの交換

エアダムが摩耗・変形・損傷したままにしておくと十分な保冷効果が得られませんので、著しい摩耗・変形・損傷が認められたときは、早めに交換してください。

- 交換作業は販売店にお申し付けください。

⚠ 警告

荷室に乗り降りするときは、足元に十分注意してください。

- エアダムに足を引っ掛け、荷室外に転落したり荷室内で転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

荷物を持ったままだと足元が見えず、転落・転倒の原因になりますので、荷室に乗り降りするときは荷物をいったん荷室内に置き、荷物を持たずに乗り降りしてください。



- エアダムを踏まないでください。エアダムで滑って荷室外に転落したり荷室内で転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、エアダムを損傷するおそれがあります。
- エアダムをまたいで荷室内に飛び乗ったり、荷室外に飛び降りないでください。転倒するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

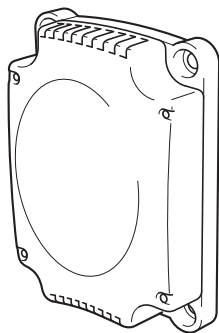
ドアを閉めるときは、カーテンが巻き込んでいないことを確認してください。カーテンが巻き込んだままドアを閉めると、確実なドアロックができません。

- 走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 冷気が逃げ、積荷が損傷するおそれがあります。

👉 アドバイス

- 荷室内の温度維持のため、カーテンは必ず閉めてください。カーテンを開けた状態でドアを開けたままにすると、冷気もれて室温管理ができなくなり、積荷を損傷するおそれがあります。
- 荷室への乗降時など、カーテンおよびエアダムを取っ手がわりに使用したり、引っ張るなど無理な力を加えないでください。カーテンおよびエアダムが破損するおそれがあります。

オゾン式脱臭装置



積荷の有無に関係なく、エンジンスイッチ「ON」で運転、「ACC」または「LOCK」で停止します。



アドバイス

次の注意事項をお守りください。お守りいただかないとオゾン式脱臭装置の故障の原因になります。

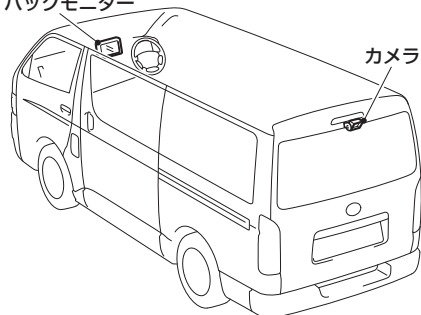
- 装置本体に直接水をかけないでください。
- 触媒の交換以外に内部装置にふれないでください。
- 脱臭効果が低下した場合は触媒を交換してください。

■ 触媒の交換

本装置の触媒は、通常の使用状態で2年に1度触媒の交換が必要です。
2年に満たない場合でも脱臭効果が低下した場合は触媒を交換してください。
(9 ページ参照)

バックモニター

バックモニター



詳しい取り扱いにつきましては、お客様の車に装備されたバックモニターの取扱書をお読みください。

■バックギヤ連動（自動）の場合

シフトレバーを R の位置にすると、自動的に画像を映し出します。

■連続（手動）の場合

バックモニターのスイッチを「ON」にすると画像を映し出します。

⚠ 注意

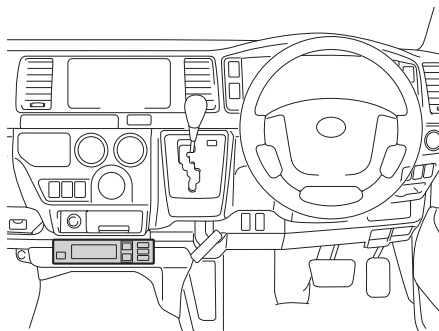
バックモニターの画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。カメラが映し出す範囲には限度があり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。後退するときは、必ずサイドミラーを併用し、後方および周囲の安全を直接確認してください。



知識

バックモニターの種類により、操作方法、機能等が異なる場合があります。

コントロールパネル〈移設〉



冷凍・冷蔵装置のコントロールパネルはインストルメントパネルの下にあります。

⚠ 警告

運転中に温度確認および操作をしないでください。周囲の状況への注意が不十分になるなど重大な事故につながるおそれがあり危険です。

🎓 知識

マニュアルトランスミッション車の場合、シフトレバーの位置によってコントロールパネルが見にくくなることがあります。

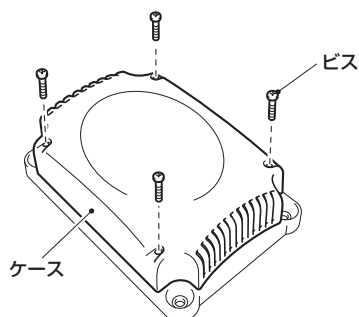
車の手入れ

オゾン式脱臭装置の触媒の交換

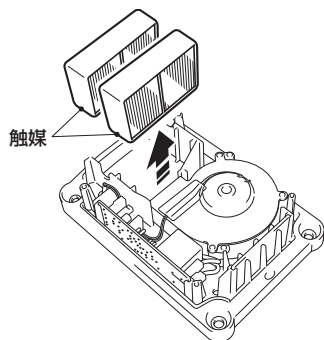
触媒は車両を購入された販売店でご注文ください。

品 番	品 名
10990-X0A76 製造元：エース産業株式会社	オゾンフレッシュミニ 触媒セット (厚さ 30mm と 20mm の 2 種類の触媒が 1 枚ずつ入っています)

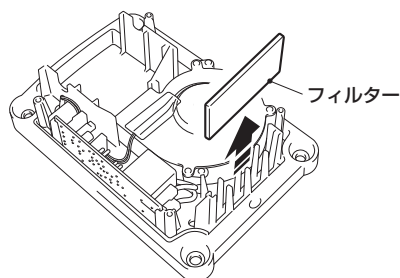
■交換手順



- ① ケースを止めているビス（4 本）を取りはずします。



- ② 触媒（2 個セット）を取りはずし、新しい触媒をセットします。



- ③ フィルターを取りはずし、中性洗剤で洗い、よく乾燥させた後、元の位置に取り付けます。

- ④ ケースをビス（4 本）で止めます。

MEMO

MEMO

冷凍バン／保冷バン／クーリングバン

適用車種	トヨタ ハイエース
適用型式	TRH／GDH



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

特装福祉事業部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498